



# 校長室通信 「かんがえるあし」



## 古 考える葦



下野市立古山小学校  
校長室インフォメーション  
平成30年度 NO. 10  
平成31年2月18日  
発行責任者 梶原 和子

巷では、まだまだインフルエンザが大流行していますね。本校でも児童のみならず、教職員の感染もあり、油断のならない状況が続いています。引き続き、うがい手洗い、換気等注意していきませんが、ご家庭でも外出時等の注意をよろしくお願いします。予防することは大切ですが、ウイルスに負けない身体づくりを心がけることも同じように大切です。本校でも体力向上に向けて「古山オリンピック」をはじめとした健康教育の充実を図っています。これからもより一層病気に負けない身体づくりに力を注いでいきたいと思っています。

さて、2月3日は節分、そして2月4日から18日まで立春です。立春と聞くとすぐにも温かくなってくような気がします。また、旧暦では、2月は「如月」といいます。その語源は諸説あるようですが、もともとは「衣更着」と書き、「寒さがぶり返し、衣を更に重ねて着る月」であるからという説が有力なようです。一方で「如」の文字は、従うという意味があるので、「何か1つが動き出すと、それに従い他のものも次々と動き出す」ということを示すそうです。そのため、万物・自然・草木などが次々に動き出す頃であることを表すようになったという説もあります。

いずれにしろ、徐々に日が延び日差しも少し強くなり、日中の明るさが増してきました。確実に春の訪れを感じます。校庭の桜の木もよく見ると、枝先には芽がついています。変わらないように見える樹木も、根から水や養分を吸い上げ、花を咲かせる準備を着々と行っているのですね。子どもたちにとっても学校にとっても、この2月はちょうどそうした時期です。1年生から5年生は進級に向けて、6年生は卒業、進学に向けてそれぞれの学年の仕上げをする時期です。勉強や運動はもちろん、友だちとの関わりやあいさつなどの日常生活を見直し、良い習慣が付いたか、自分を少しでも伸ばすことができたのか振り返ってみるといいでしょう。そして、得意なことはより一層伸ばし、苦手なことは克服できるように、毎日の学習や生活に真剣に取り組み、しっかり力を付けるようにしたいものです。児童一人一人がそれぞれの春に向かって、一日一日を大切に積み上げていくことを願っています。



### 学校評価結果について（保護者アンケートの結果と分析）

さて、過日実施しました「学校評価」の結果についてお知らせいたします。なお、達成度を「A そう思う」と「B おおむねそう思う」を合計したパーセントとして示しました。保護者の皆様のご協力、大変感謝しています。貴重なご意見もたくさんいただきました。今後、この結果をもとに改善策を検討し、本校の教育活動に生かして参りたいと存じます。ありがとうございました。

		評 価 項 目	H29	H30
教育活動について	1	お子さんは、楽しく学校生活を送っている。	98%	97%
	2	お子さんは、あいさつがよくできている。	88	87
	3	お子さんは、授業がよくわかり意欲をもって学習している。	86	86
	4	お子さんは、思いやりがあり他の人のことを考えた行動がとれている。	93	92
	5	お子さんは、進んで読書をしている。	54	57
	6	お子さんは、自分なりの目標を持ち真剣に取り組んでいる。	79	77
	7	学校は、子どもに対し、いつも温かく声をかけたり、励ましたりしている。	94	88
	8	学校は、学校生活を豊かにする行事や活動をしている。	97	98
	9	学校は、安全指導を適切に行い、子どもの安全確保や事故防止に努めている。	97	98



全体的に概ね良好な結果でした。7については各教職員に対し、子ども一人一人とよく話し、向き合うことの大切さを伝え、子どもの良いところ、伸びたところを認め、褒め、伸ばす指導を心がけるようにしていきたいと考えています。また、3については「よく考える授業」「よりわかりやすい授業」「より楽しい授業」を目指すため、校内の授業研究や各種研修の充実を図り、授業力の向上に努めているところです。

さらに、学習は目標設定が大切です。各自達成するのに”ちょっと大変”なくらいの目標を設定して、最低でも、学校で提唱している家庭学習をきちんとやり遂げることが重要です。予習も復習と同様に大切です。ぜひ、予習と復習をセットで取り組むようにしましょう。予習は次の日の学習内容の部分の教科書を読むだけでも効果があります。読書は、良書をたくさん読むことで着実に国語の力が付きます。学校と家庭とで連携して、本好きな子を育てて参りましょう。

家庭との連携	10	学校の教育目標や学校経営の方針、学校行事などを学校ホームページや様々な便りなどによって、保護者にわかりやすく伝えている。	97%	96%
	11	学校は、地域や保護者の協力・参加を得て、よりよい教育活動を行っている。	98	96
	12	学校は、家庭への連絡をきめ細かく行い、子どもの様子などを分かりやすく伝えている。	86	85
	13	学校と家庭とが連携して、適切な家庭学習ができるようにしている。	88	87
	14	学校は、保護者からの連絡や相談に誠実に対応している。	94	95
子どもの家庭生活	15	お子さんは、朝一人で起きる。	48	53
	16	お子さんは、朝食を毎日食べている。	84	89
	17	お子さんは、忘れ物をしないように持ち物を確かめている。	79	78
	18	お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。	80	80
	19	お子さんは、家族とよく話をしている。	96	98
	20	お子さんは、家事の分担をきちんと果たしている。	67	69
その他	21	保護者の皆様は、学校ホームページや学校からの便り（校長室通信、学年だより、保健だより、給食だより、図書館だより、連絡帳等）に目を通している。	95	97
	22	保護者の皆様は、子どもの話をよく聞いている。	97	99

全体的に概ね良好な結果でした。12については、連絡帳の確認、回答、電話連絡の在り方、マナー等、全職員で共通理解を図り、保護者の皆様にとって信頼と安心の学校となるよう努めて参ります。13につきましては、まずは「家庭学習の手引き」を参考に学習の習慣付けを図ると良いでしょう。また、朝一人で起きられなかったり、家のお手伝いがあまりできていなかったり、朝ごはんを食べなかったりするお子さんが増えているようです。良い習慣は、才能を超えられます。そして朝食は子どもの健康と頭と身体の成長に欠かせない大切なものです。ぜひ、学校と家庭とで連携し、子どもに良い習慣を身に付け、よりよく成長させたいものです。

### 学校運営協議会委員からの本校教育活動全般に関するご意見とご感想

- 子どもたちが楽しく学校に通っている様子がうかがえる。今後ともよろしく願いたい。
- 読書については、より一層の推進をお願いしたい。子どもたちの読書に関する意識が低いのが残念である。家庭との連携も大切なのではないか。図書室利用推進をこれまで以上進めてほしい。また、年間25冊以上の読書の実現も今後も続けてほしい。グリム童話大賞受賞者もいるので、そういった素晴らしい実績も子どもたちに広めてほしい。
- いじめについては敏感に対応を。不登校や不審者対策等についてもしっかりやってほしい。
- 将来についても、学年に応じて適切に考えさせる機会が必要である。

※ 児童の活動の様子や学校行事等については、学校ホームページに掲載してありますのでぜひご覧下さい。  
学校HPアドレス [http://www.school.shimotsuke.ed.jp/e\\_school/koyama/](http://www.school.shimotsuke.ed.jp/e_school/koyama/)

こちらからもご覧になれます





